

平成29年度 第48回 「防火ポスターコンクール」 審査概評

聖園学園短期大学 教授 小笠原 京 子

1 はじめに

このコンクールは、少年少女の防火意識を高め、一般県民の防火思想の普及啓発を図ることを目的として、ポスターの公募を小中学生を対象に行っているものです。

今年度は、小中合わせて138点の応募がありました。その中で、にかほ市立金浦小学校からは多くの出品があり嬉しく思いました。また中学校では、能代第一中、十文字中、秋田西中、山王中等、力作が多く努力が光っておりました。

来年も是非この事業の意図を汲み、積極的に取り組んで欲しいと願っております。小学生の応募もさらに増えることを期待しております。

2 小学生の部

火事の原因を考えた元気で素直な作品が多く、子どもらしい感性やアイデアがあふれていました。高学年の作品は、強調や省略といった視点も入れた画面構成となっていますが、絵の具の濃さや筆のタッチを考えながら着色すると、もっと効果が生まれてくるでしょう。



■ 一 席 今 野 愛 琉 (にかほ市立金浦小学校 6年)

燃えさかる家をバックに注意を喚起する女の子を前面に出している構図が効いています。女の子の表情や背景の黒と赤の対比がすっきりし、キャッチコピーも見る人に訴えかけます。



■ 二 席 恩 賀 琉 奈 (秋田市立八橋小学校 4年)

何とんでも消防士の真剣な表情で消火活動している姿に惹きつけられます。顔の表情から一生懸命な気持ちが伝わってきます。消防服のオレンジ色と夜の青が効果を生み出しました。煙の色に変化があるともっとよかったですね



■ 二 席 渡 部 桐 子 (にかほ市立金浦小学校 6年)

「お・か・し・も」という火事の時の避難合い言葉をしっかりと伝えたいという思いで作った作品ですね。合い言葉にはいざという時のために、自分も周りの人も安全に逃げるための知恵が込められています。大きな火が後ろから迫ってくる感じを出すために、つかまえようとする手を入れた工夫がポイントになりました。



■ 三 席 尾 崎 結 哉 (鹿角市立草木小学校 3年)

シンプルな表現ですが、たき火の炎の勢いが大きく色もきれいです。文字を大きく入れたことで、伝えたいことが明快で力強さがあります。今度はぜひ水彩絵の具にも挑戦し、イラストも増やしてみましょう。



■ 三 席 宇 沼 京 香 (にかほ市立金浦小学校 6年)

火事の原因を複数考え、画面に配置しながら、キャッチコピーもよく考えられた作品です。背景の黄色が全体のイラストや文字をすっきりと浮かび上がらせています。

今度は文字やイラストを均等に画面に配置せず、何を大きく中心にするか考えた構成をしていくといいと思います。



■ 三 席 中 村 梨 花 (にかほ市立金浦小学校 6年)

コンセントからの火を擬人化した表現が生きています。また炎の黄色から赤へのグラデーションが青のバックの色と響き合い、全体の色調がとてもきれいです。画面の中で、イラストと文字の占める割合をもう少し工夫してみましょう。

3 中学生の部

啓発ポスターの意味を理解し、画面構成や色調など、よく練られた作品が多く見られました。抽象化した形と色、子どもらしいイラスト表現、自分の得意な表現方法を生かした細かな描写、キャッチコピーのアイデアからの発想等、いろいろな切り口からの迫り方があり、表現の幅を感じます。ただ、イラストや仕事が丁寧だけに、呼びかけの言葉が吟味されていればと思われる惜しい作品がありました。

応募された作品はいずれも努力が感じられ、選ぶのに苦労しました。今後も期待しています。



■ 一 席 佐々木 愛 梨 (能代市立能代第一中学校 2年)

子どもたちがあどけない表情でマッチをいじり、上方を向いている。そこから火がつき、家族にとって大切なものが次々と失われていくさまが描かれています。子どもの火遊びを上から捉える視点や構図の発想が新鮮で光っています。またレタリングや着色の仕事も丁寧で、効果をあげています。



■ 二 席 佐藤 優 奈 (横手市立十文字中学校 1年)

背景の巨大な炎に大きなビルや家屋等がすっぽりと包み込まれ、一目瞭然のポスターです。擬人化した炎、ビルや家屋の窓からも見える燃えさかる火、シンプルな構図とシンプルな色づかいが、明快で力強さを出しています。キャッチコピーの色もすっきりしています。



■ 二 席 石 井 凜 (三種町立山本中学校 3年)

大変な山火事の中、水辺に逃れてきた鹿たちの不安な息づかいが感じられます。炎に包まれ、やけ焦げた木々の様子や空一面に広がる黒煙、鹿の毛並みや水の表現に、一生懸命取り組んだことが伝わってきて、心のこもった作品になりました。



■ 三 席 戸 田 美 咲 (大館市立東中学校 1年)

火災報知器は設置したものの、煙を感知し、すばやく知らせる機能が衰えている様子がユーモラスな擬人化によって巧みに表現されています。画面全体の構成や文字の位置もよく考えられた作品です。



■ 三 席 石 崎 天 珠 (能代市立能代第一中学校 1年)

軽い気持ちで遊んだ火遊びがとんでもないことにつながる怖さが、男の子と女の子の表情から強く伝わってきます。取り返しがつかなくなっている恐怖の表情や前面の勢いある炎の表現が上手です。キャッチコピーの配色も考えられ、訴求力の大きい作品に仕上がっています。



■ 三 席 伊 藤 凪 咲 (秋田市立秋田西中学校 1年)

「マダコんなことしていませんか？」おもしろくて気の利いたかけことばのキャッチコピーが、まずは見る人を惹きつけます。陽気なタコの目や踊っているような8本の手足が、巧みにコンセントにつながっていて分かりやすい作品です。形も配色もシンプルで、明快に仕上がりました。